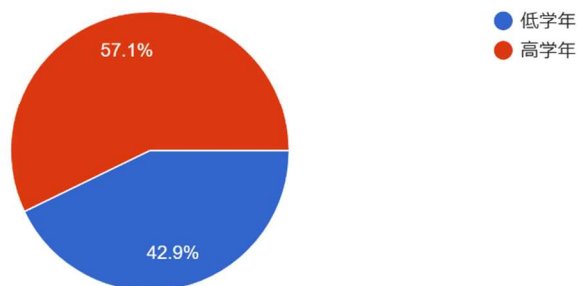


令和4年度 宗谷管内教育研究大会 知来別小学校のまとめ

主に参観した学年をお聞かせください

7件の回答



授業を参観していただいた感想をお書きください 7 件の回答

授業者の先生の丁寧な指導が印象的でした。複式の学習を参観する機会がなかなかないので、大変勉強になりました。

6年生を中心に参観しましたが、子供たちが意欲的に取り組んでいる様子を見ることができました。分からないことを分からないと言える児童同士、児童と教師間の関係がとても良いな、日頃の学級経営が生きているのだろうな、と感じました。

素直な子どもたちの反応が見られて、よかったです。時間は過ぎていたものの、最後あたりの男子が意欲的に問題を解いている様子を見て、やっぱりある程度難しめな問題の方が面白いのかなと思いました。

安定した学級経営が見える授業でした。

算数の系統や指導事項を明確に理解した上での緻密な単元デザインがある、質の高い授業でした。

仮説をもとに言語化を充実させようと、とても考えられた授業だった。児童の実態をふまえた授業構成だった。

6年～難しいといいつつ一生懸命取り組んでいて雰囲気よかった 5年～ノートきれい

仮説①に対する手立てが適切であったか、ご意見をください 7 件の回答

まとめを自分で作る活動はとても大切だと思いました。

「難しいけど取り組んでみたい」「他の方法がないか考えてみたい」という、主体的な態度を多くの場面で感じ取ることができました。

学校研究としては良いと思います。本日の授業としては、みなさん主体的でした。

導入が有効的で、課題に対して意欲的に向かっていました。

主体的に取り組むためには、課題が大事になると思っています。これまでの授業経過と子どもたちの学習状況に合わせて、直前の課題変更をされていました。一時間一時間の授業作りへの誠意を感じました。更に、体験的な活動からの課題の生み出しがあると、子どもたち自身の課題から、学習課題を作ることができ、より主体性を高められると思いました。

2年生の思考する時間を「〇分欲しい」という発言は主体性や課題解決の見通しがもてているからこそだったと思うので、その点では適切だったと思う。

課題は把握していたと思う

仮説②に対する手立てが適切であったか、ご意見をください 7 件の回答

算数用語を正しく理解させようという意識が大変良く感じられました。

せっかく分からないことを素直に分からないと言い合える関係なので、分かった児童が分からない児童に(手を替え品を替え)説明する場面や、答えまでは行き着いていなくても立ち歩いて考えを聞き合える場面がたくさんあると、説明する力もより育つのかな、と思います。

学校研究としてはよかったです。授業においては、適切ではなかったかもしれません。児童同士の説明をしあうなどの交流は時間上少なかったように思います。

算数用語を意識した指導案であった。授業の中で子ども達が声を出していたのがよかったです。

日常的に算数用語を正しく使って分かりやすく説明することを算数学習のめあてに掲げて、子どもたちに意識させながら学習を積み上げてこられたことがわかりました。今日一時間の授業だけではあの様な子どもの活動は見られなかったと思い、指導者と学校研修の強い意志を感じました。本時で思考させたい数直線の指導事項が、ねらいや活動、思考の方向と合致していたかということは、協議の時には発言しましたが、自分なら、と考えるよい機会になりました。

2年生のまとめを自分で書かせていたのが良かった。1年生は文で表すのは難しいため、キーワードのみを書かせても良かったのではないかな。

私はついつい子の説明を再度付け加えてしまうのですが、子どもどうして解決できたかなと改めて思いました。しかし、説明の仕方の手本として繰り返した方が良いこともあり...迷います

仮説③に対する手立てが適切であったか、ご意見をください 7 件の回答

支援員さんがいることがありがたい反面、自分たちで学び合うという姿勢も伸ばしていくことが大切かなと思います。ミニ先生、教え合いなど...(学力差が大きいことを聞き、できる範囲からでと思いました)

研究協議の中であった、ヒントカードの充実や、架空の友達などありますが、6年生くらいの人数がいれば、子どもに委ねてしまう(子どもから要求されるまでヒントなどは控える)というの、子ども同士で支援しあったり、結果的に学び合ったりできるのかな、と思います。特に児童間の関係性もよさそうなので...

学校研究の理論としては良いと思います。直接指導の厳選、間接指導の充実を進めることで、今の学習指導要領で求められている「主体的」な授業をつくることができそうです、小規模は、個の支援は手厚くできますが、やりすぎると、個別指導が当たり前になり、友達同士の対話に発展しづらいです。学び合いについては間接指導を充実した方がいいかなと思います。個別の考えに入る前に図の提示があり、考えのヒントになっていました。ジャムボードを有効的に活用できると、間接指導がさらに充実すると思いました。すごろくの仕掛け、シール、数直線を一本に等、様々な工夫や手立てがありました。全体への特別な支援は十分に考慮されていたと思います。その手立てを講じたとしても、つまずきが予想される子どもへの支援も計画されていると、更に全員参加、全員理解に向かえたかと思いました。支援員がいることで思考の手助けになっていた。ジャムボードの利用はつまづいている子の助けだったり、時間の短縮に有効だと思いました。Dコンツや具体物など色々用意されていてよかったです。切ってあったり、透明だったり、対角線がひいてあったり、気づきのしやすい物があってもよかったかな

読解力や表現力を向上させるために、ご自身がこれまでに取り組まれていることがありましたら、お書きください 7 件の回答

どんなかたちであれ、自分の考えを表現すること、その後にその考えや説明の仕方をみんなで検討すること。(どの説明がスッキリしているか？大事な言葉は入っているか？など)使える語彙、表現を増やす、知ってる言葉から、よりふさわしい言葉に言い換える、などの活動は行なっています。また、接続詞や助詞に注目して、文同士の関係を把握しながら読ませたりすることもあります。主に国語ですが...どの教科でも音読をすることで、脳科学的にはどっかいいよくが上がるとされています。高学年が問題を読んでいたのも、そういう意図なのかと勝手に思っていました。家庭学習としても推奨しています。表現する前にノートで自分の考えをまとめる時間の確保。交流後、考えを再構築する時間の確保。考えが止まったら友達に助けを求め、考えを借りる。とにかく、伝え合う活動をたくさん計画して重ねました。低学年なら、音読や読み聞かせ、クイズやなぞなぞ、伝言ゲーム等も授業の切り替え場面や朝の会等におこないました。そういうことをクラス全員で楽しく取り組める学級づくりを大事に考えています。たくさんの文に触れる。文章に線を引き、焦点化させる。算数用語の指導や掲示。表現方法のパターン化(テンプレートの作成)。発表場面を多く持つ 算数数学の用語は出てくる度に質問して確認する

その他ご意見ご感想等ありましたらお願いします 6 件の回答

5,6 年生の成長した姿を見ることができて良かったです。楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

タブレットは、やはり「手段」だと思います。タブレットがあってもなくても、交流は成り立つけれど、タブレットがあったほうが便利だったり描き直したり、複数人数の考えを共有できます。使うことが目的じゃなくて、使った上での交流自体が目的じゃないかなあと感じました。

ありがとうございました。授業の参考にさせていただきます。

経過や実態から次の取組の具体化をはかる、学校研究の理論的な考え方や方策が明確で、発表スライドと説明もとても分かりやすく勉強になりました。ありがとうございました。

今日はたくさん学ばせていただきました。ありがとうございました。

授業ありがとうございました お疲れ様でした

授業研を終えて、今後の学校研究の取組（方針）

仮説①「主体性」

- ・ デジタル教材を今後も活用していく。
- ・ 活動の内容や目的によって、具体物・デジタルなど、どの手段が効果的なのかを考えて授業作りを行う。

仮説②「言語活動の充実」

- ・ 発信する力だけでなく、問題を読み取ったり、友達の考えを理解したりという、受信する力の育成も併せて考える必要がある。
- ・ 算数用語を使って説明したり、考えたりする活動を低学年のうちから継続して行っていく。
- ・ 言語活動を行う時間を確保する。授業デザインの重要性。

仮説③「学び合い・個の支援」

- ・ 学び合いの前に個人で考えを持つことのできる授業作り。
 - ・ 学び合いの形態の工夫や育成
 - ・ ミニ先生を取り入れて、自分たちで活動を進めることのできる力の育成。（低学年）
 - ・ ジャムボードなど、タブレットを活用した学び合いの工夫を取り入れる。（高学年）
- 学年の実態に応じて、徐々に学び合いの手段を増やしたり、自分たちで学び合うことができるように指導する。

その他

- ・ 間接指導時の工夫
 - ・ 空白の時間を作らない。
 - ・ 間接指導時に困らない指示出しの工夫。